

防災への意識改革 vol.258

⚡ 防災行政無線情報は電話でも 防災行政無線が聞き取りにくい場合は、☎(48)7030で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

第38回阿久比町消防団消防操法大会

～優勝は第3分団1号車～

小型ポンプ操法の技術を競う「第38回阿久比町消防団消防操法大会」が6月28日(日)に、阿久比スポーツ村第2駐車場で開催されました。今回は、第1分団から第5分団までの計9チームが、操法技術とタイムを競いました。

小型ポンプ操法は、指揮者1人、操作員3人(1番員、2番員、3番員)、吸管補助員1人の計5人一組で行います。

指揮者の「操作始め」の号令で、指揮者と1番員が二重巻きホース3本を火点前まで延長します。2番員、3番員はポンプ後方に吸管を取り付け、布水槽に吸管を投入します。給水後、1番員の「放水始め」の伝達により送水し、指揮者が標的を落下させます。標的落下までの基準タイムは45秒です。

審査は、各団員が待機線に整列したところから始まり、解散までの士気、規律、迅速な行動、チームワーク、器具愛護、所要時間など多くの項目で審査され、特に「標的落下までの所要時間」「火点方向にホースが真っすぐ伸びたか」が重要視されます。

選手に選ばれた各団員は、この大会のために約2カ月間、連日の夜間練習や休日練習を重ねてきました。多くの来賓などが注目する中、会場にかけつけた家族や消防団OBの声援を受けながら、機敏な操法技術を披露しました。

大会の結果は、次のとおりです。(敬称略)

○優勝 第3分団1号車

神田隼志、竹内佑斗、青木秀斗、三苫卓磨、竹内幹也



○準優勝 第5分団2号車

都築秀斗、伊藤博之、新美勝正、山口洸平、新美貴教



○敢闘賞

新美優介(指揮者)、橋村仁生(1番員)、足高友彰(2番員)、榊原善成(3番員)



放水をする団員たち



火点へ走る指揮者と1番員



服装も大切

○第3位 第5分団1号車

都築純二郎、竹内崇人、中村直哉、瀧塚政斗、新美貴大

